

平成 30 年 11 月 6 日

関係機関のご代表者 様

兵庫医科大学病院  
圏域リハ支援センター長 道免 和久

### 平成 30 年度 阪神南圏域リハビリテーション研修会のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学病院の運営に関しまして、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 30 年度の阪神南圏域リハビリテーション支援センターの事業として、標記研修会を下記のとおり開催する運びとなりました。

つきましては、ご多用中とは存じますが、貴機関におかれて主にリハビリテーションに従事、関与されている方の出席方について、ご配慮くださるようよろしくお願いいたします。

なお、誠に勝手ではございますが、出席ご希望の方は別紙にご記入のうえ、**平成 30 年 11 月 29 日(木)まで**にご返信くださるよう併せてお願いいたします。

(予定人数を超えた場合のみ、ご連絡差し上げますので、よろしくお願いいたします。)

敬具

#### 記

- 日 時 : 平成 30 年 12 月 1 日 (土) 14 時 00 分～16 時 30 分 (終了予定)
- 場 所 : 兵庫医科大学病院 理学療法室 (2 号館 3 階)
- テ ー マ : 「介護士、ヘルパー、ケアマネジャーの為のベッド上起居動作、トランスファーの実技講習」
- 内 容 : ・ケーススタディを中心に、実技、グループワーク、ディスカッション  
・グループ 6～8 名 7 グループ
- 定員 60 名 (先着順)**
- 目 的 : ①実際に現場で困っているような難渋症例のベッド上起居動作及びトランスファーのやり方を学ぶ。  
②ただ単に起居動作、トランスファーを行うだけでなく、その人の最大限の能力を発揮させることが、廃用症候群、ADLup に繋がるということを学ぶ。  
③グループワーク、ディスカッションを行うことで、職種間、個人によって様々な考え方があることを学ぶ。  
④情報共有の重要性を学び、自身の行動、考え方が担当する世帯に及ぼす影響を知る事で地域における自身の仕事の重要性を認識する。
- 司 会 者 : 兵庫医科大学病院 リハビリテーション部  
理学療法士 古川 徹
- 実技指導者 : 阪神南圏域 (尼崎・西宮・芦屋) 勤務の理学療法士・作業療法士 7 名 (予定)

#### 【本件についてのお問い合わせ】

兵庫医科大学病院 阪神南圏域リハ支援センター事務局  
担当 : 松浦 E-mail : ri-matsuura@hyo-med.ac.jp  
FAX : 0798-45-6002

平成 年 月 日

阪神南圏域リハ支援センター事務局 行  
(兵庫医科大学病院 地域医療課内)

## 平成 30 年度 阪神南圏域リハビリテーション研修会申込書

貴機関名 \_\_\_\_\_

ご担当者 \_\_\_\_\_

(必須)ご連絡先(TEL) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

(必須)ご連絡先(FAX) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

(必須)勤務先ご住所 〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

平成 30 年度 阪神南圏域リハビリテーション研修会に出席を希望します。

※下記ご記入のうえ、メールもしくは FAX にてご返信ください。

所 属	職 名	氏 名	メールアドレス (楷書体で記入)
	CM ・ ヘルパー その他 ( )		
	CM ・ ヘルパー その他 ( )		
	CM ・ ヘルパー その他 ( )		

**メールアドレス： ri-matsuura@hyo-med.ac.jp**

**FAX 番号： 0798-45-6002**

平成 30 年 11 月 29 日(木)までにご返信願います。

※出席者に変更がある場合（欠席への変更含む）は、下記までご連絡ください。

【本件についてのお問い合わせ】

兵庫医科大学病院

阪神南圏域リハビリテーション支援センター事務

局

担当：松浦 電話：0798-45-6035（地域医療

課）

メールアドレス：ri-matsuura@hyo-med.ac.jp